

2017年5月期（第31期） 決算説明会

2017年6月30日
株式会社ウェザーニューズ

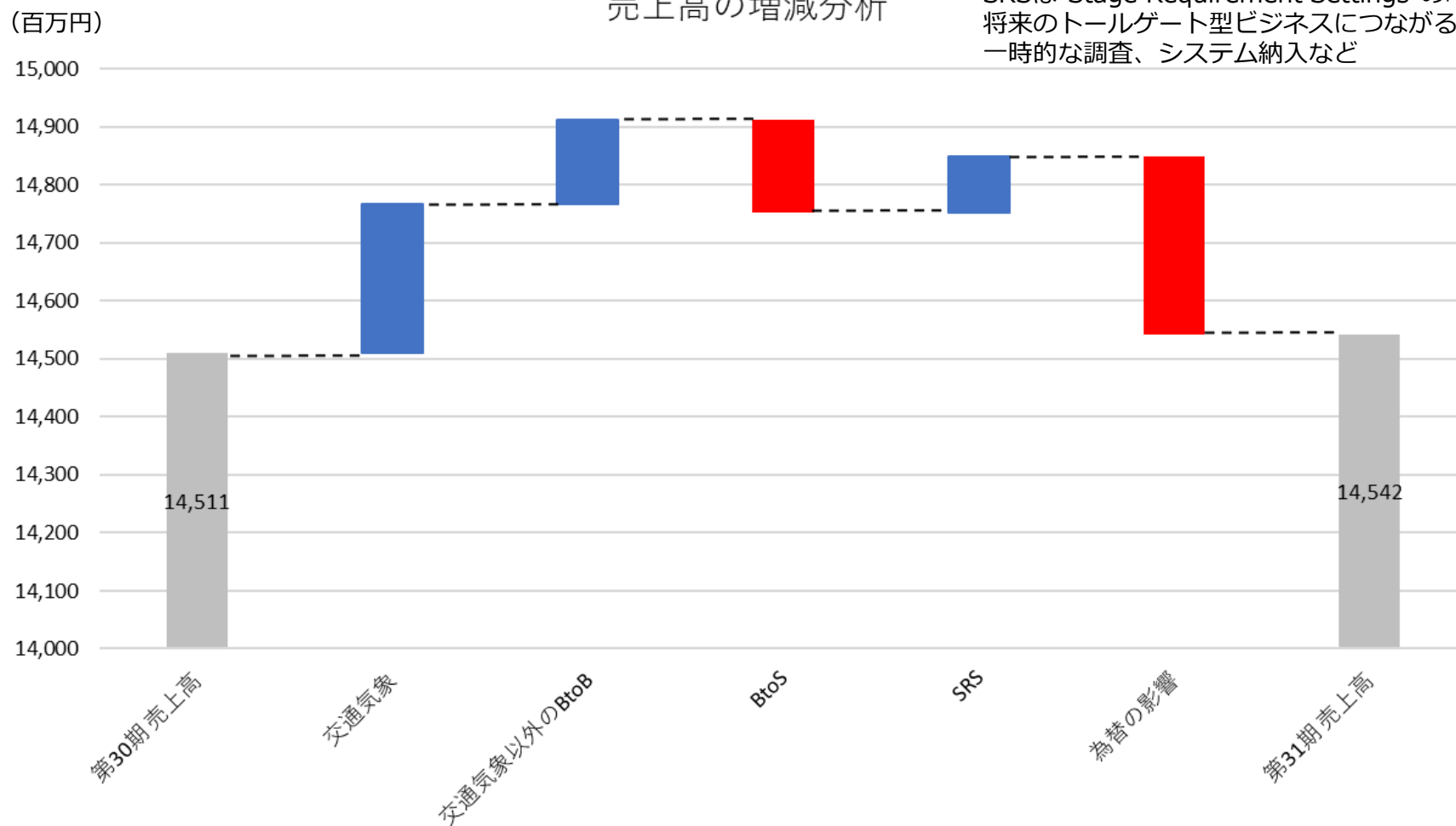


(単位：百万円)	2016.5期 (第30期) 実績	2017.5期 (第31期) 実績	前期比伸び率
売上高	14,511	14,542	0.2%
(BtoB売上高)	8,558	8,772	2.5%
(BtoS売上高)	5,953	5,769	△3.1%
営業利益	3,387	2,824	△16.6%
経常利益	3,208	2,825	△11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,195	1,965	△10.5%
EPS (円)	201.57	180.39	△10.5%

- 航海気象が停滞したものの、道路及び鉄道気象が堅調に推移。BtoBは2.5%の増収
- Smart phoneの伸びに比べ、Feature phone会員減の影響大。BtoSは3.1%の減収
- 微増収するも、人材強化・システム開発・M&A・為替差損の影響により減益

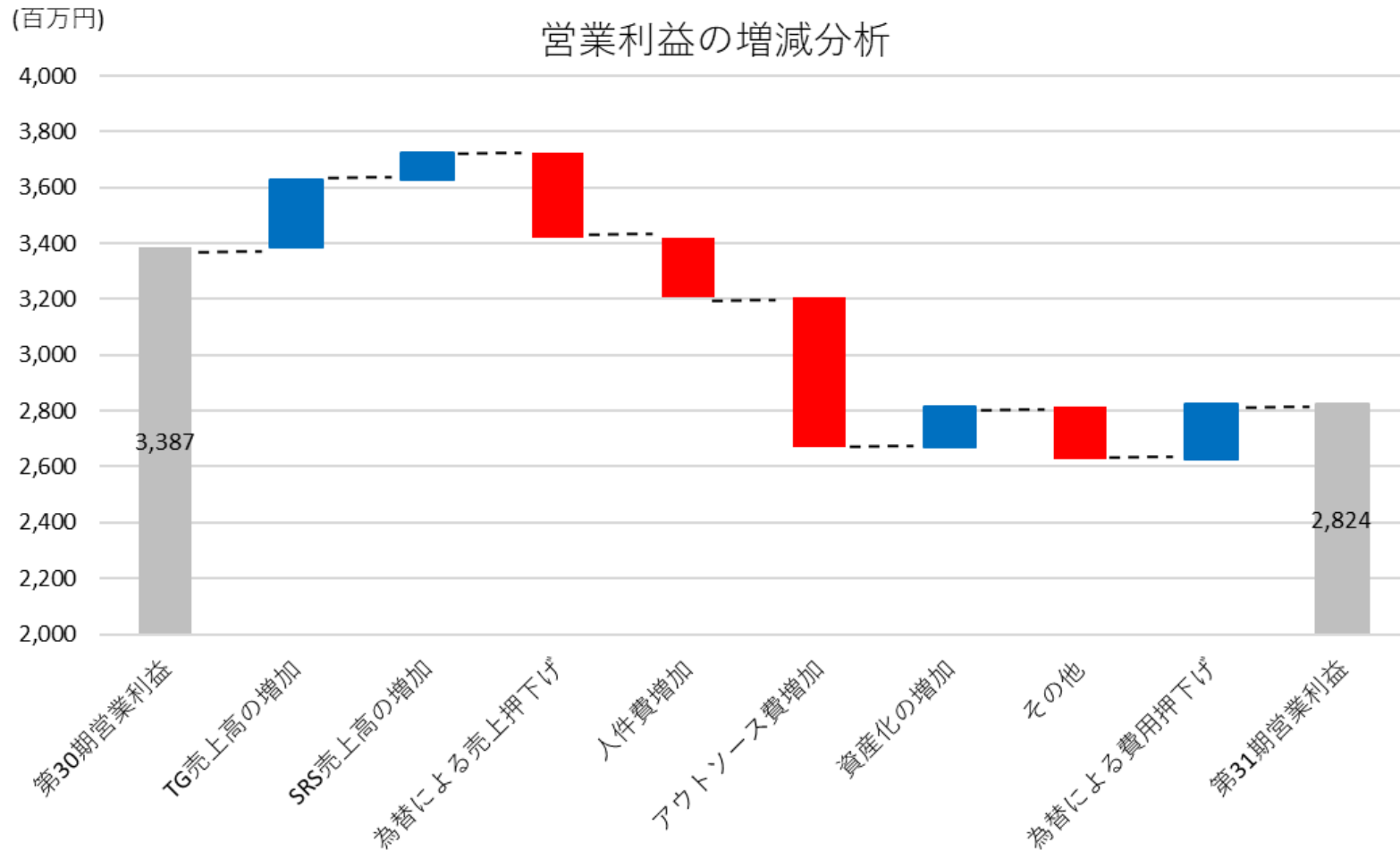
売上高の増減分析

SRSは“Stage Requirement Settings”の略。
 将来のトールゲート型ビジネスにつながる
 一時的な調査、システム納入など



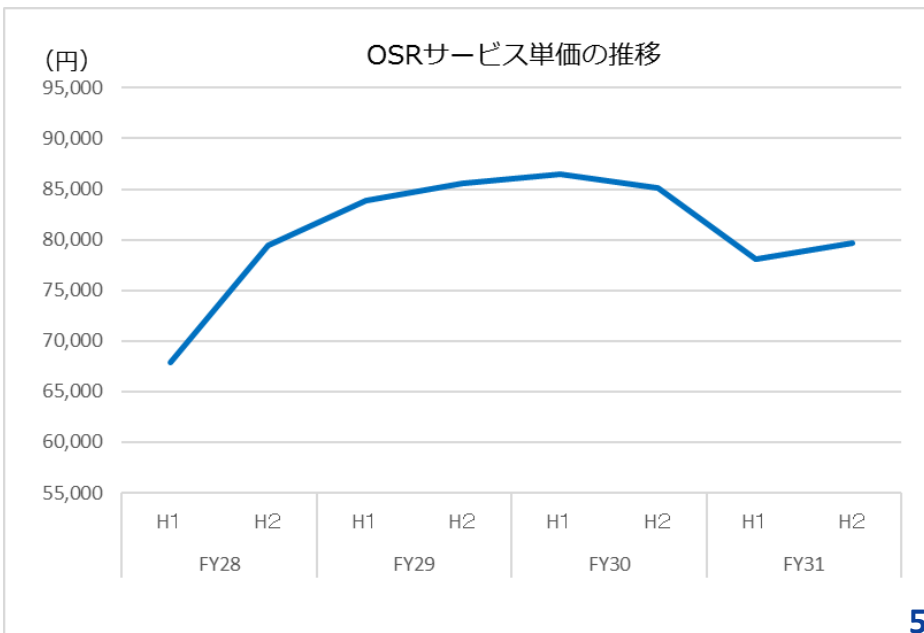
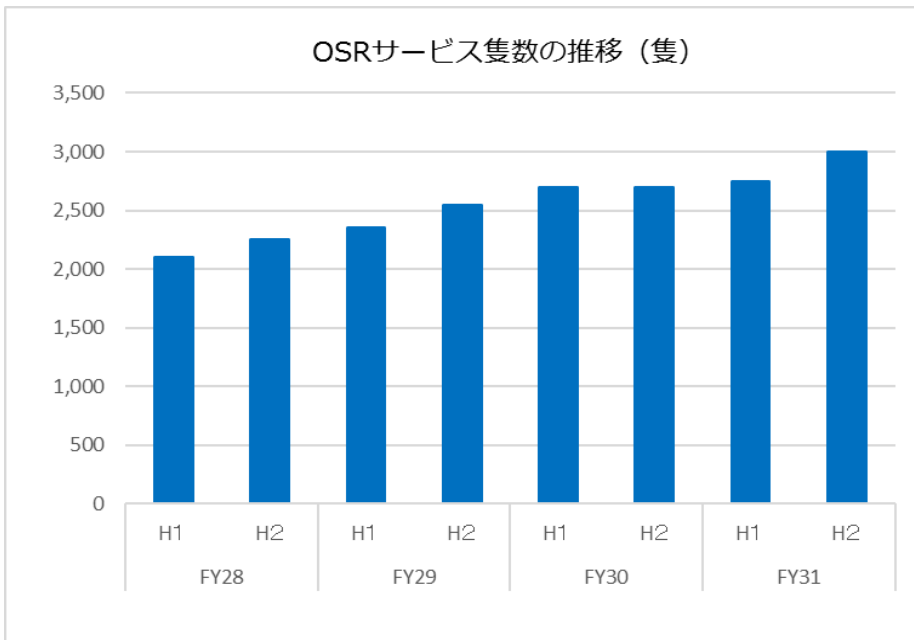
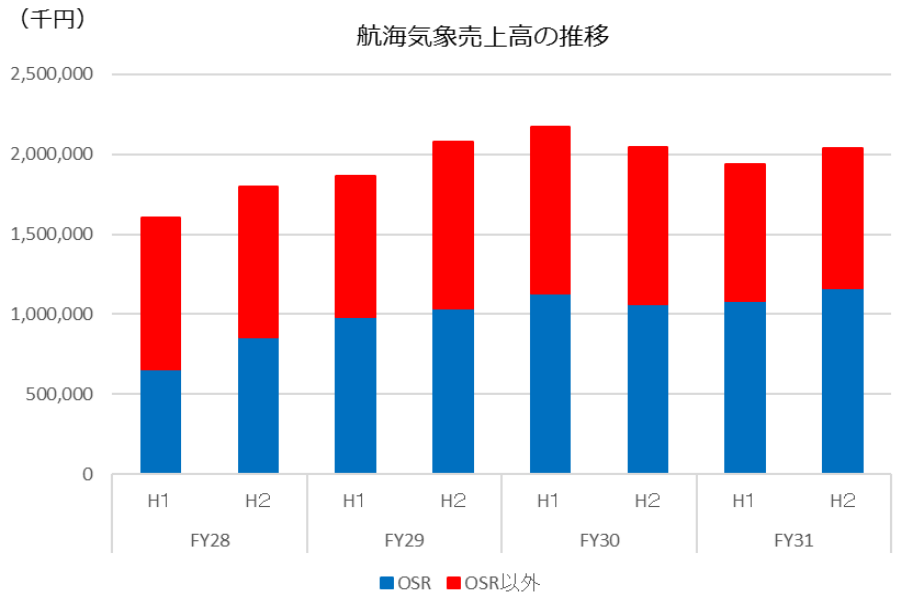
<BtoB> 道路・鉄道気象を中心にトールゲート事業が増収
 その他交通気象の各市場も順調に成長

<BtoS> Feature phone会員数の減少に伴い減収
 放送局向けサービスが市場のニーズを捉えて成長

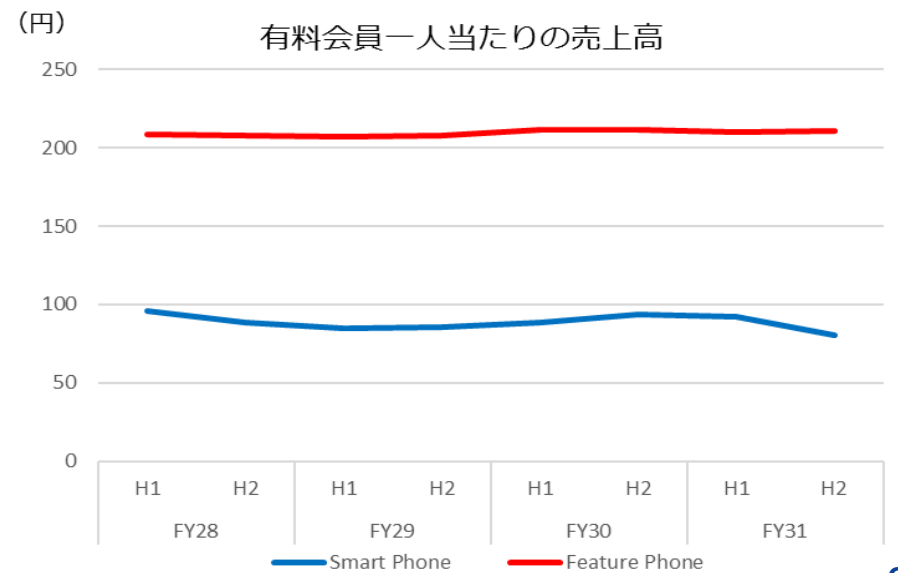
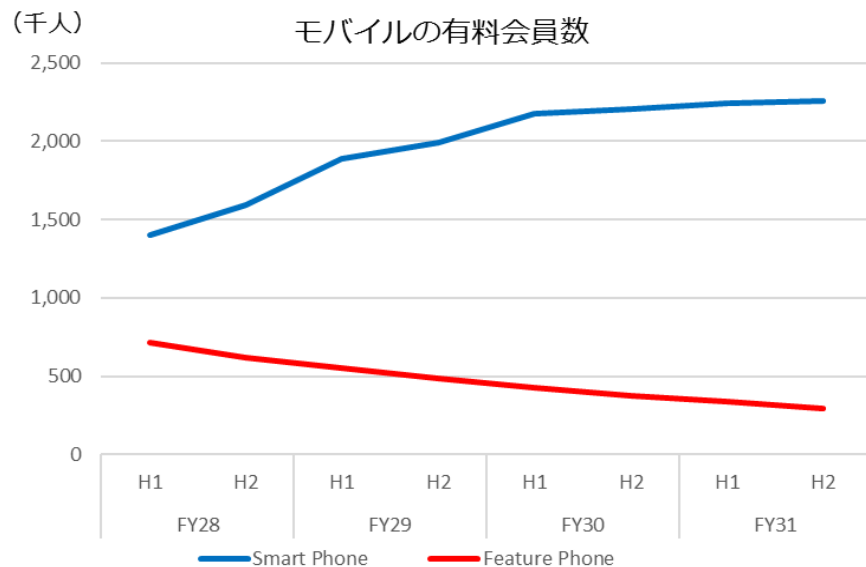
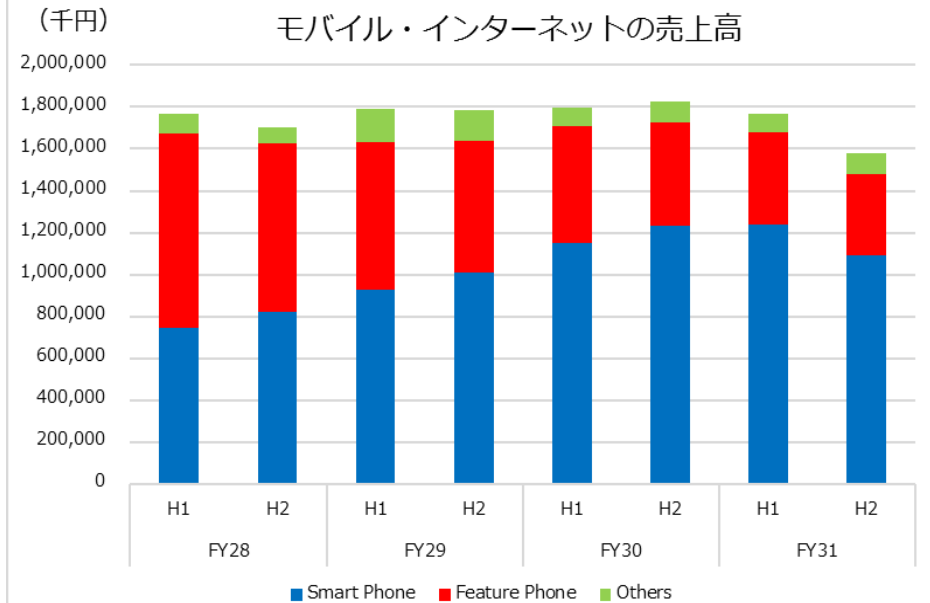


- アジア展開に先立つ現地人材、生産性向上に向けた開発スタッフの積極採用における知的労務費の増加
- M&Aによる株式取得関連費用、システム開発力の強化に向けた費用の増加

- 海運不況・為替の影響により減収
- 2017.5期末のOSRサービス隻数は3,000隻（前期末は2,700隻）
- 単価は荷動き減及び為替影響により低下傾向



- Smart phoneでは会員数増加するも「ニューシェアモデル減」により減収
- Feature phoneは会員数減少により減収
- 2017.5期末の会員総数は255万人へと微減（前期末は258万人）



(単位：百万円)	2016.5期 (第30期) 実績	2017.5期 (第31期) 実績
設備投資	673	684
減価償却	676	670
研究開発	390	354
従業員数 (連結)	764 名	826名

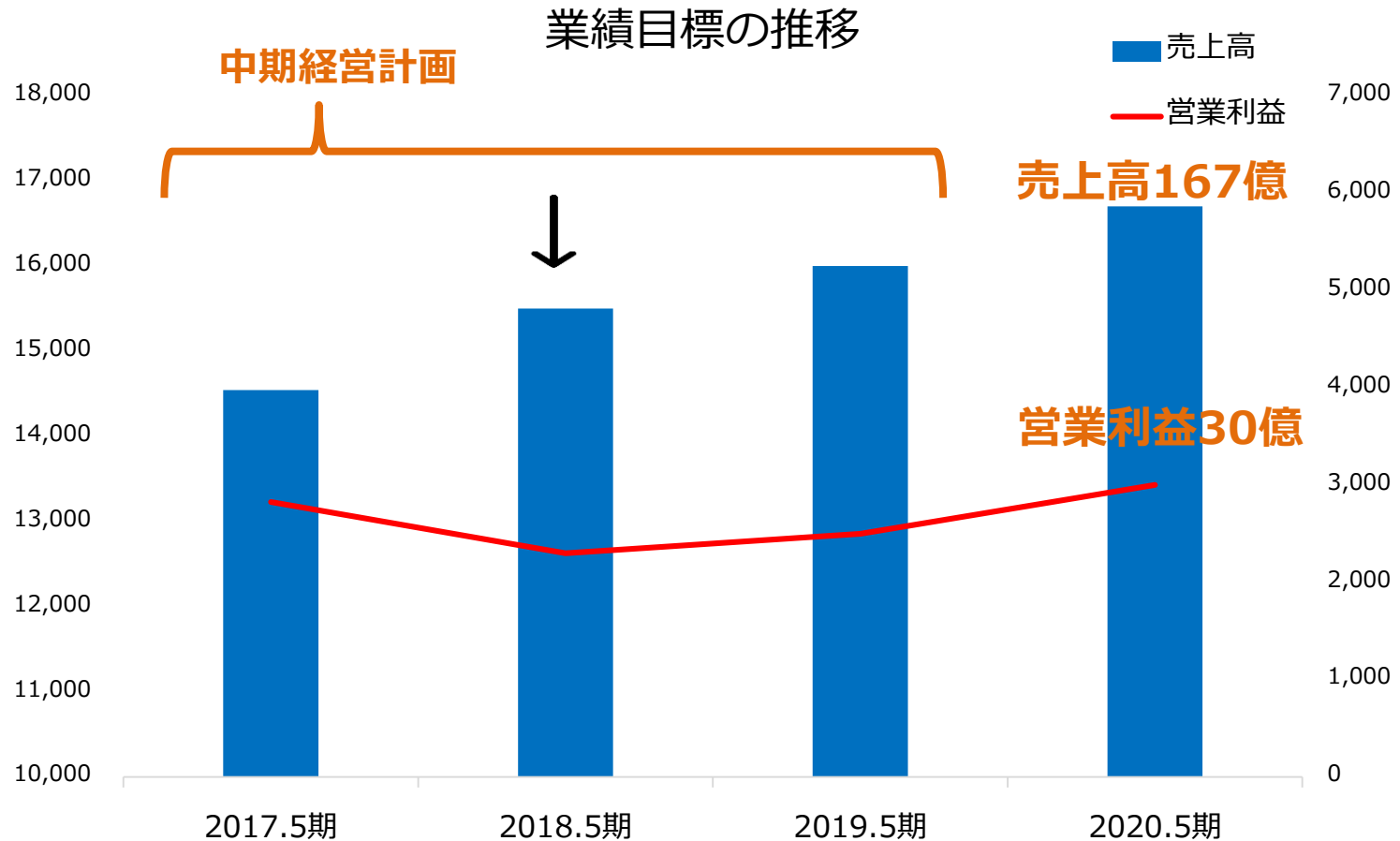
- 開発力強化の取り組みが先行し、設備投資・研究開発等への投資は計画遅れ
- グローバル人材・IT人材への投資に伴い従業員数が増加(うちWNI Franceは21名)

方針

「高貢献、高収益、高分配」の考えに基づき、経営成績と資本効率
配当性向・配当利回りなどを勘案し、1株あたり年間配当金の基準
を100円とします。

直近の配当実績

	中間配当	期末配当	合計(年間)
2015.5期	30円	70円	100円
2016.5期	35円	65円	100円
2017.5期	50円	50円	100円



- 2020.5期(第34期)には、売上高167億、営業利益30億達成を目指す

(単位：百万円)	2017.5期 (第31期) 実績	2018.5期 (第32期) 計画	2019.5期 (第33期) 計画
売上高	14,542	15,700→ 15,500	16,340→ 16,000
(BtoB売上高)	8,772	9,440→ 9,250	10,020→ 9,700
(BtoS売上高)	5,769	6,260→ 6,250	6,320→ 6,300
営業利益	2,824	3,400→ 2,300	3,400→ 2,500
経常利益	2,825	3,300→ 2,300	3,300→ 2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,965	2,300→ 1,600	2,300→ 1,700

赤： 修正値

- 当期実績を踏まえ、3か年計画を変更
- 売上高は微減修正し、各段階利益では投資計画を鑑みて減益の計画修正

Total Fleet Management によるOSR6,000隻展開

- 船隊全体の最適化を行うサービス（T-MAX・LOOP）の販売開始
- 欧州の環境規制に対応したサービス（ESM）の販売開始

SKY & LAND Planning のグローバル展開

- 航空気象：アジアの航空会社を中心に売上成長を牽引
- 鉄道気象：通告サポートの拡大

Environment Weather の立ち上げ

- Metnextの技術を活用したサービスを日本・欧州に展開

BtoS プラットフォームに応じたビジネスモデルの確立

- グロースハックの開発チームによるUI/UXの継続的改善
- SEO・ASO・広告キャンペーンによるトラフィックの最大化

中期経営計画 投資の柱

【設備投資】

- 蓄積データを効果的に解析できる基幹インフラ Version Up
- 価値創造を高める気象観測インフラ整備

【人材投資】

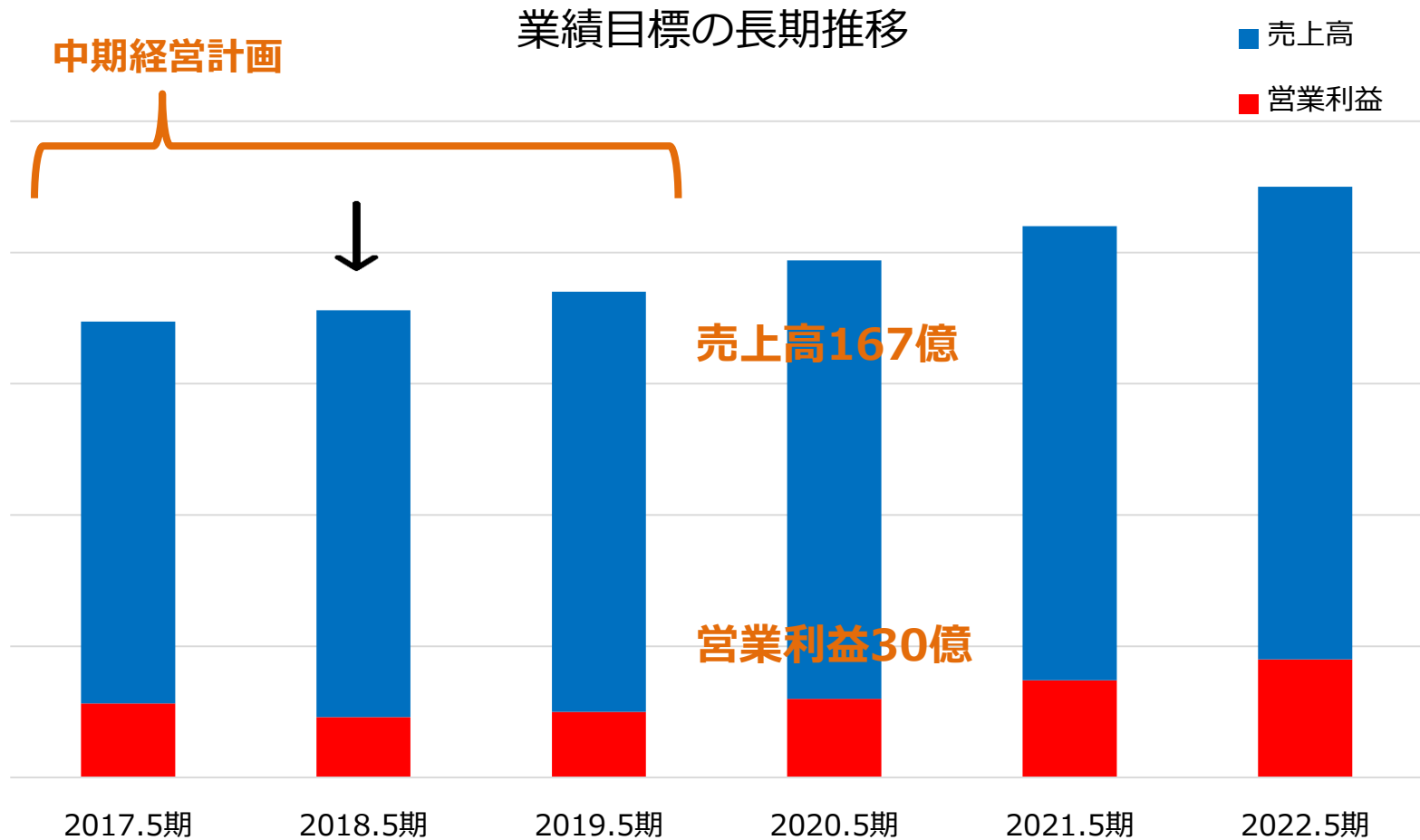
- グローバル展開を実現する人材の確保・育成

【事業投資】

- ビジネス展開を加速するコラボレーション (M&A含む)

追加項目

- グローバル展開の機動力・マネジメント力に向けた全社的人材強化
- サービス開発力を強化するITパートナーの活用
- BtoSのサービスポジションを確立する広告



- 積極投資により2022.5期(第36期)へ向けた継続成長を実現

(単位：百万円)	2017.5期 (第31期)		2018.5期 (第32期)		通期伸び率
	上期実績	通期実績	上期予想	通期予想	
売上高	6,898	14,542	7,420	15,500	6.6%
(BtoB売上高)	4,045	8,772	4,300	9,250	5.4%
(BtoS売上高)	2,853	5,769	3,120	6,250	8.3%
営業利益	1,372	2,824	1,050	2,300	△18.6%
経常利益	1,385	2,825	1,050	2,300	△18.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,018	1,965	730	1,600	△18.6%
EPS (円)	93.48	180.39	67.00	146.85	△18.6%

- 交通気象の各市場の成長により、売上高は9期連続の増収を予想
- 次なる成長に向けた積極投資を見込み、来期は一時的な減益を予想

[参考] 業績目標 (中期経営計画)

(単位：百万円)		Stage 1				Stage 2		
		FY27 2013.5期	FY28 2014.5期	FY29 2015.5期	FY30 2016.5期	FY31 2017.5期	FY32 2018.5期	FY33 2019.5期
為替レート(円)	1 \$	83	100	109	119	108	110	110
売上高		13,007	13,306	14,064	14,511	14,542	15,500	16,000
TG	BtoB	6,349	7,006	7,691	8,188	8,288	8,750	9,300
	BtoS	5,564	5,362	5,515	5,630	5,462	5,630	5,700
SRS		1,092	937	856	692	790	1,120	1,000
営業利益		2,696	3,268	3,304	3,387	2,824	2,300	2,500
	営業利益率	20.7%	24.6%	23.5%	23.3%	19.4%	14.8%	15.6%
経常利益		2,760	3,293	3,504	3,208	2,825	2,300	2,500
当期純利益		1,724	1,873	2,252	2,195	1,965	1,600	1,700
ROE		21.5%	19.9%	20.6%	17.9%	15.0%	11.7%	11.9%
配当性向		31.4%	34.8%	48.3%	49.6%	55.4%	68.1%	64.1%
設備投資		587	577	715	673	684	1,200	1,000
研究開発費		413	392	392	390	354	380	400
■ サービス導入予定								
VP	OSR隻数 (隻数)	1,400	2,250	2,550	2,700	3,000	4,430	6,000
WITH	有料会員数 (千人)	1,860	2,210	2,480	2,580	2,550	2,550	2,550

